



ないしょのおともだち

ドノフリオ作 マクリントック絵 福本友美子訳 ほるぷ出版

むかし、とてもおおきないえに、マリーというおんなのこがすんでいました。また、このいえのすみには、ちいさないえがあり、ネズミのおんなのこもすんでいました。あるばん、ゆかにおちたフォークをひろおうとしたマリーは、ネズミのおんなのことめがあって、そのひからないしょのおともだちに。まいばん、わざとフォークをおとして、てをふるようになったのです。

やがて おおきくなって いえからでていくふたり。でも、ふたりのきずなは、まだつながっていたのです。

